

貸借対照表

平成28年3月31日現在

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金	61,768	44,222	17,546
普通預金	7,510,019	6,802,048	707,971
未収金	72,000	0	72,000
流動資産合計	7,643,787	6,846,270	797,517
2. 固定資産			
(1) 特定資産			
退職給付引当預金	4,610,541	4,469,041	141,500
創立50周年記念事業積立預金	0	4,000,000	△ 4,000,000
特定資産合計	4,610,541	8,469,041	△ 3,858,500
(2) その他固定資産			
定期預金	4,051,957	4,051,957	0
差入人居保証金	1,511,250	1,511,250	0
その他固定資産合計	5,563,207	5,563,207	0
固定資産合計	10,173,748	14,032,248	△ 3,858,500
資産合計	17,817,535	20,878,518	△ 3,060,983
II 負債の部			
1. 流動負債			
流動負債合計	0	0	0
1. 固定負債			
退職給付引当金	4,610,541	4,469,041	141,500
固定負債合計	4,610,541	4,469,041	141,500
負債合計	4,610,541	4,469,041	141,500
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計			
2. 一般正味財産	13,206,994	16,409,477	△ 3,202,483
(うち特定資産への充当額)		(4,000,000)	△ 4,000,000
正味財産合計	13,206,994	16,409,477	△ 3,202,483
負債及び正味財産合計	17,817,535	20,878,518	△ 3,060,983

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1)退職給付引当金 職員の退職に備えるため、当事業年度末における退職給付債務の見込み額(簡便法)に基づき計上している。
- (2)消費税等の会計処理 税込方式によっている。

2. 特定資産の増減額及びその残高

特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
退職給付引当預金	4,469,041	141,500	0	4,610,541
創立50周年記念事業積立預金	4,000,000	0	4,000,000	0

※年度3月末段階での退職計算額に補正

3. 特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

科目	当期末残高	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
特定資産			
退職給付引当預金	4,610,541	0	4,610,541
創立50周年記念事業積立預金	0	0	0

4. 実施事業資産について

実施事業資産はない。